

平成26年度 事務事業評価シート（大磯町議会）
（平成25年度決算）

番号	1
----	---

委員会名	平成25年度決算特別委員会		
事務事業名	都市交通推進事業		
事業担当課－事業番号	都市計画課	－ 22	予算科目 都市計画総務費

（事務事業評価の結果）

（評価指標） 極めて高い－5 高い－4 普通－3 低い－2 極めて低い－1

項目	評価	評価内容	評価指標(委員平均)
妥当性 (評価指標の平均)	2.5	・社会情勢等を踏まえた中で実施すべきか	3.5
		・行政が行うべきか（税金を投入すべきか）	3
		・サービスが他の事務事業と重複してはいないか	2
		・サービスの対象や内容は適切なのか	1.9
		・町民全体のためになっているか（対象者が偏っていないか）	2
有効性 (評価指標の平均)	2.2	・事務事業の効果は上がっているか	2.1
		・事務事業の目標は達成できているか	2.1
		・設定した事務事業の目標は達成可能であるか	2.1
		・事務事業の目標が低く設定されていないか	2
		・職員等の人材活用は積極的にされているか	2.6
効率性 (評価指標の平均)	2.2	・コストの削減等を考えた場合に実施方法は適切なのか	2
		・提供するサービス内容を考えた場合に実施方法は適切なのか	2.1
		・地域、民間事業者等に委託することはできないか	2.6
		・事務事業に投入されている人員は適正なのか	2.4
		・受益者負担等の考え方は適正なのか	2

総合評価 (3項目の合計)	6.9	<p>（総合評価に対する理由と意見）</p> <p>ますます高齢化が進む中、必要な地域への生活交通手段の確保等は重要な課題である。都市交通推進事業は平成25年度の事業内容見直し後、本年度前半には乗客数が伸びているとのことであるが、本来の事業目的は生活交通空白地域への対応にある。また、さらに運行ルート、時間帯を見直し、利用者を増やすことも必要であるが、現在、本事業は税金投入に対して経費がかかり過ぎており、費用対効果が上がらない状況にある。また、町側の事業評価は効率性において、費用に対する効果は求めておらず、検討余地が無いとする考え方は問題である。実施方法が効率性を欠いている状況において、本事業の実施内容を精査し、税金投入に対する費用対効果を踏まえ抜本的な見直しを行うべきであり、本事業に対する町の姿勢を契約更新に向けて検討すべきである。</p>
------------------	-----	---

事務事業の方向性	1	拡充する	<p>（方向性に対する理由と意見）</p> <p>現在の事業の考え方は継続すべき事業という考え方であり、本来の目的である生活交通空白地域のニーズにどのように応えられるかとすべきである。現時点において通学・通勤の利用、病院・高齢者施設への利用の時間帯等のヒアリングを行い、乗車人数を増やすことも必要であるが、町民ニーズ調査として利用者からの意見を反映しているかは疑問である。また、担当課としての事業者の赤字補填に対する考え方も問題である。</p> <p>本事業は他に有効な手段を考える必要があり、民間の力を借りることや、受益者の負担を考えるべきである。また、地域における住民主体のデマンド方式についても行政としての姿勢、役割、責任も明確にしておくべきである。例えば、地域拠点を区分けした中で、マイクロバスによる運行を考える。地域ごとの運行時間帯設定により、回転率を向上させ経費削減、サービスの充実を図るという方法も考えられる。</p> <p>本事業に係る生活交通問題は各地方自治体が抱える問題であり、国も「地方再生」に力を注ぎとしていることから、国の補助金対応などについて神奈川県町村会等を通して国へ積極的に働きかけることも必要である。</p>
	2	現状のまま継続する	
	3	一部見直しのうえ継続する	
	④	抜本的(事務事業の統廃合等)な見直しのうえ継続する	
	5	休止・廃止する	

（総合評価） 1－(14.1～15.0) 2－(11.6～14.0) 3－(8.6～11.5) 4－(6.6～8.5) 5－(0～6.5)
